

## 川崎市(神奈川県):コミュニティバス

### 自治会運営の自治会会員向けコミュニティバス

人口	1,327,011 人	モード	コミュニティバス
面積	142.70 km <sup>2</sup>	法令	— (無償運送)
人口密度	9,299.31 人/km <sup>2</sup>	運営主体	県営野川南台 団地自治会



#### ■ 取組の背景

##### 地域と交通の状況

##### 【交通不便地域の存在】【生活交通手段の確保】【高台・起伏に富んだ土地】

- 川崎市宮前区の野川南台地区には、県営野川南台団地を中心とする高台の住宅地があり、メインのアクセス道路は、平均幅員 6.3m、勾配 13%(高低差 35m)の急な坂道となっている。同地区においては入居者の高齢化が急速に進んでおり、周辺地域には商業店舗や医療施設がほとんどないことから、特に高齢者にとって日常生活に必要な移動が困難な状況であった。

##### 活用メニュー(制度・協議会等)

##### 【自治体独自協議会】【市町村の補助(バス)】

- 平成 17 年 2 月に県営野川南台団地自治会が中心となって「南台コミュニティ交通導入推進協議会」を設立し、コミュニティ交通の導入に向けて、行政と協働しながら取り組みを進めた。
- 既存バス路線の団地内への乗り入れや、乗り合いタクシーによる運行なども検討したが、採算性等に課題があることから、自治会費によって運営費を賄う運行サービスを検討した。
- 平成 18 年と平成 19 年に試験運行を行った。試行運行に係る費用の一部は川崎市が負担した。本格運行時の初期費用である車両購入費等については川崎市が負担する予定。

#### ■ 実現したサービス

##### サービス内容

##### 【ルート of 工夫】【路線図 of 工夫】

- 県営野川南台団地自治会は、自治会が主体となって以下のような運行を実施する。(平成 20 年 7 月より本格運行開始予定)
  - 運行日:月曜日・水曜日・金曜日
  - 運行時間:9 時台~15 時台(12 時台を除く)
  - 運行者:県営野川南台団地自治会
  - 運転者:地域のボランティア(有償)  
※ただし、国土交通省主催の運転者講習を受講した者
  - 車両:10 名乗りのワゴン車
  - 利用者:自治会会員(運賃は無料)
  - その他:コンビニ、郵便局の駐車場を乗降場所として借用。発着場所に事務局員を配置
- 試験運行では発車時刻を統一し、利用者に覚えてもらいやすい形にした。

## ■ 効果と負担

### 効果

#### 【利用者数の増加】【生活移動手段の確保】

回	期日	延べ利用者数	1日あたり		1便あたり	
第1回	平成18年11月6日 ～12月1日	863人	72人		6.5人	
第2回	平成19年7月18日 ～12月26日	4,217人	ルート見直し前	63.9人	ルート見直し前	3.5人
			ルート見直し後	72人	ルート見直し後	4.0人

- 運行サービスによって、高齢者の近隣スーパーへの買物、通院などの利便性が向上した。また、利用者同士の移動中の会話など、地域のコミュニティづくりにも寄与している。

### 負担

#### 【市町村負担】【住民負担】

- 約800世帯が納める自治会費によって運営費を賄うが、導入時の試行運行に係る費用の一部は川崎市が負担した。本格運行時の初期費用である車両購入費等については川崎市が負担する予定。

## ■ プロセスと調整

### 運行形態の選択

#### 【プロセス:体制構築】

- 宮前区ではコミュニティ交通導入調査を行い、運行形態に関する検討を行った。
- 路線バスの運行は、走行環境や需要面から、乗合タクシーの運行は、採算性の面で維持が困難であると判断し、持続可能な運行形態として、地域で支え合う「ボランティアによる運送」を採択した。
- この運行形態では、路線の免許を取得しなくて良い反面、団体の活動目的のひとつとして利用者を団体の構成員に限定し、利用者の運送の対価を求めないこととする必要があった。

### アンケートによる現状把握

#### 【プロセス:現状把握】

- 平成18年度に、約1ヶ月の試行運行及びアンケート調査等を実施した結果、利用ニーズに応じた運行システムや持続的な運行を可能とする仕組みを確立し、地域コミュニティの形成や地域の活性化に寄与するかなどを判断するためには、より長期間の試行運送を実施する必要があると判断した。
- 平成19年度は、道路運送法の許可等を要しない自主運行による約6ヶ月の試行運行と、利用ニーズを把握するためのアンケート調査を実施した。
- 平成20年7月より3ルートで本格運行を開始する予定となっている。

### 住民との調整

#### 【連携:住民】

- 住民と自治体職員の協働で作業を進め、自治会会員の運営意識が高く保たれた。

## ■ 創意工夫・知見・教訓

### 住民との積極的なコミュニケーション

#### 【知見:丁寧な住民説明の必要性】

- 自治会費により運営費用を負担する必要があるなど、地域住民の主体的な取組が不可欠であったことから、自治体職員が積極的に地域に入り円滑なコミュニケーションを心がけたことで信頼を得ることができ、コミュニティバスの実現に向けて地域住民も一層積極的に取り組むようになった。

### 運行費用負担のあり方

#### 【教訓:費用負担のあり方】

- 本格運行にあたって、人件費、燃料油脂費、保険料等のランニングコストは年間130万円前後と試算されており、これを自治会費で負担しつづけていくための対策を施す必要がある。
- ランニングコストに加え、車両確保に係る費用(たとえば、車両購入やリース代)も自治会が負担することは非常に厳しい状況にあるため、別の資金調達手法を検討する必要があった。

### 運行管理体制の検討必要性

#### 【教訓:事業の持続困難】

- 現行では運行サービスを自治会のボランティア活動のひとつと位置づけ無償運行の予定となっている。ただし、費用負担のあり方や近隣地域での運行サービスを考慮した場合、有償運行への移行も含めた運行サービスのあり方について検討が必要な状況となっている。

## ■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：川崎市宮前区役所企画課 電話 044-856-3170

■ 資料編



図. コミュニティバス路線図 (本格運行時の予定)

出典: 川崎市宮前区資料

## ■ 資料編

行き先	団地集会所前	野川郵便局	セブンイレブン くぬぎ坂店	セブンイレブン 高津野川店	団地集会所前
第1ルート(久末方面)	0	—	—	▶ 4	▶ 7
第2ルート(郵便局方面)	1 0	▶ 1 5	▶ 1 9	—	▶ 2 2
第3ルート(郵便局+久末方面)	3 0	▶ 3 5	▶ 3 9	▶ 4 4	▶ 4 7

※運行時間帯は変更ありません

図. コミュニティバス時刻表（本格運行時の予定）

出典：川崎市宮前区資料